



平成30年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月10日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション
 コード番号 2734 URL <http://www.sala.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー (氏名) 武川裕樹

TEL 0532-51-1182

四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第1四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第1四半期	51,665	8.7	2,547	8.4	1,556	36.0	1,081	28.7
29年11月期第1四半期	47,509	56.6	2,350	58.0	2,433	60.1	1,516	71.2

(注) 包括利益 30年11月期第1四半期 1,039百万円 (38.8%) 29年11月期第1四半期 1,696百万円 (109.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第1四半期	17.68	
29年11月期第1四半期	28.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第1四半期	175,754	53,286	29.7
29年11月期	170,630	53,125	30.5

(参考) 自己資本 30年11月期第1四半期 52,228百万円 29年11月期 52,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		7.00		11.00	18.00
30年11月期					
30年11月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	4.0	5,200	11.7	5,400	11.2	3,700	7.5	60.47
通期	208,000	4.2	5,100	8.6	5,500	22.4	3,500	26.2	57.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期1Q	66,041,147 株	29年11月期	66,041,147 株
期末自己株式数	30年11月期1Q	4,843,256 株	29年11月期	4,849,179 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期1Q	61,149,365 株	29年11月期1Q	53,229,804 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し緩やかな回復基調で推移したものの、米国の金融政策の動向や不安定な国際情勢が続くなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

エネルギー業界では、当社グループ（以下、「サーラグループ」といいます。）の都市ガス供給エリアでは小売全面自由化以降、新たに参入した企業はないものの電気、ガス小売販売を巡るエネルギー事業者間の競争は激しさを増しています。また、大都市圏において既存のエリアを越えたエネルギー大手事業者間の提携が進み、エネルギー業界における新たな枠組みづくりが始まっています。

このような状況のなか、サーラグループは平成28年12月より、「私のまちにはSALAがある ～暮らしとエネルギーのSALAへ～」をテーマに掲げた第3次中期経営計画に基づく重点課題への取組みを開始しています。本中期経営計画では、既存事業の強化に引き続き取り組むとともに、サービス体制から事業展開、組織運営に至るまで徹底してお客さま起点から見直すことにより、「暮らしとエネルギーのSALA」として広く地域に浸透することを目指しています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、エネルギー&ソリューションズ事業におけるお客さま視点の総合サービスを実現する第一歩として、期初に中部瓦斯株式会社とガステックサービス株式会社の本社機能を統合するとともに、両社の役員を同一にするなど事業会社の枠を超えた組織再編に取り組みしました。

また、同じく、期初にIT等を駆使したこれからの新しいマーケティング機能を担う新会社である株式会社サーラライフスタイルイノベーションを設立しました。サーラグループが保有するデータを最大活用し、お客さまのライフステージにおける様々な課題を解決するサービスの提供に向けての取組みを開始しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力のエネルギー&ソリューションズ事業においてガス販売量が増加したことや、アニマルヘルスケア事業において動物用医薬品の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は51,665百万円と前年同期比8.7%増加しました。利益面は、エネルギー&ソリューションズ事業における増益が寄与し、営業利益は2,547百万円と前年同期比8.4%増加しました。一方、現金の動きを伴わない期末日時点の時価評価として、営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損1,151百万円を計上したことにより、経常利益は1,556百万円と前年同期比36.0%減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,081百万円と前年同期比28.7%減少しました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

エネルギー&ソリューションズ事業

売上高26,667百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益2,510百万円（前年同期比13.2%増）

需要期である冬期の平均気温が前年同期を下回ったことにより、都市ガス、LPガスともに家庭用、業務用を中心にガス販売量は増加しました。また、電力小売販売の取組みを強化したことにより、サーラの電気のお客さま数が増加し、売上高は増加しました。利益面は、ガス販売量の増加に加え販売費及び一般管理費の低減に努めたことにより、営業利益は増加しました。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高5,912百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益105百万円（前年同期比57.5%増）

建築、設備、土木の各部門は当四半期における1ヵ月当たりの完成工事高は減少したものの、セグメント事業会社4社の決算期を変更したことに伴い、当該4社については当四半期の業績に5ヵ月分の実績が反映したため、売上高は前年同期並みとなりました。利益面は、メンテナンス部門の完成工事高の増加や土木部門の利益率改善の取組み効果により営業利益は増加しました。

ハウジング事業

売上高6,885百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失163百万円（前年同期は営業利益13百万円）

住宅販売部門における分譲住宅の販売は順調に推移しましたが、注文住宅の販売が低調であったため売上高は減少しました。利益面は、住宅部資材加工・販売部門は前年同期並みを維持したものの、住宅販売部門における注文住宅の引渡し棟数の減少が響き営業損失を計上しました。

カーライフサポート事業

売上高3,248百万円（前年同期比11.5%増）、営業損失78百万円（前年同期は営業損失61百万円）

中古車販売の取組みを強化したことにより、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数が増加したため、売上高は増加しました。利益面は、フォルクスワーゲンの新車販売台数の減少や、新車及び中古車販売における経費増加の影響などにより営業損失を計上しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高6,193百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益133百万円（前年同期比14.7%増）

畜産部門において動物用医薬品の販売が好調に推移するとともに、ペット関連部門において主要取引先に対する新商品の販売を強化したことにより、売上高は増加しました。利益面は、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費の低減に努めたことにより、営業利益は増加しました。

プロパティ事業

売上高1,463百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益76百万円（前年同期比27.2%減）

不動産の分譲部門における土地の買取再販が好調に推移するとともに、資産マネジメント部門において賃貸料収入が増加したため売上高は増加しました。利益面は、不動産仲介部門の実績が前年同期を下回ったことなどにより、営業利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は175,754百万円と、前連結会計年度末と比較して5,123百万円増加しました。これは主に、「仕掛品」が未成工事支出金の増加などにより3,233百万円増加したこと、「商品及び製品」が2,097百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が1,976百万円増加したことに対し、「現金及び預金」が2,160百万円減少したこと、「有形固定資産」が752百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は122,468百万円と、前連結会計年度末と比較して4,963百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が2,855百万円増加したこと、「長期借入金（1年内返済予定を含む）」が1,022百万円増加したことに対し、「未払法人税等」が1,379百万円減少したこと、「役員退職慰労引当金」が1,145百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は53,286百万円と、前連結会計年度末と比較して160百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が409百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,081百万円増加、配当の実施により672百万円減少）したこと、「繰延ヘッジ損益」が173百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年1月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,001	14,841
受取手形及び売掛金	22,707	24,684
商品及び製品	9,578	11,675
仕掛品	10,822	14,056
原材料及び貯蔵品	200	197
繰延税金資産	1,252	970
その他	4,026	4,903
貸倒引当金	△239	△251
流動資産合計	65,351	71,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,876	18,569
機械装置及び運搬具(純額)	3,150	3,099
導管(純額)	21,088	20,559
土地	33,798	33,223
建設仮勘定	4,612	5,292
その他(純額)	1,260	1,288
有形固定資産合計	82,785	82,032
無形固定資産		
のれん	603	561
その他	1,127	1,074
無形固定資産合計	1,730	1,636
投資その他の資産		
投資有価証券	7,401	7,511
長期貸付金	6,248	6,100
繰延税金資産	3,563	3,670
その他	4,010	4,190
貸倒引当金	△460	△465
投資その他の資産合計	20,763	21,007
固定資産合計	105,279	104,676
資産合計	170,630	175,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,184	23,383
電子記録債務	2,131	2,838
短期借入金	9,962	12,818
1年内返済予定の長期借入金	10,877	10,647
未払法人税等	1,750	370
賞与引当金	2,479	1,549
役員賞与引当金	6	4
完成工事補償引当金	53	50
工事損失引当金	85	96
ポイント引当金	256	257
その他	12,690	13,972
流動負債合計	63,477	65,988
固定負債		
長期借入金	36,056	37,307
繰延税金負債	609	673
役員退職慰労引当金	1,210	64
修繕引当金	153	160
退職給付に係る負債	12,561	12,307
その他	3,436	5,965
固定負債合計	54,027	56,479
負債合計	117,504	122,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	24,518	25,067
利益剰余金	21,504	21,914
自己株式	△2,390	△3,149
株主資本合計	51,657	51,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	895	953
繰延ヘッジ損益	△54	△228
退職給付に係る調整累計額	△383	△353
その他の包括利益累計額合計	456	371
非支配株主持分	1,011	1,057
純資産合計	53,125	53,286
負債純資産合計	170,630	175,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
売上高	47,509	51,665
売上原価	33,705	37,083
売上総利益	13,803	14,582
販売費及び一般管理費	11,453	12,034
営業利益	2,350	2,547
営業外収益		
受取利息	32	29
受取配当金	20	22
その他	134	166
営業外収益合計	187	218
営業外費用		
支払利息	39	33
持分法による投資損失	25	—
デリバティブ評価損	—	1,151
その他	39	24
営業外費用合計	104	1,209
経常利益	2,433	1,556
特別利益		
固定資産売却益	10	16
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	10	16
特別損失		
固定資産除売却損	0	11
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	0	25
税金等調整前四半期純利益	2,443	1,548
法人税、住民税及び事業税	330	62
法人税等調整額	554	361
法人税等合計	885	424
四半期純利益	1,558	1,123
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,516	1,081

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	1,558	1,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	58
繰延ヘッジ損益	—	△173
退職給付に係る調整額	34	30
その他の包括利益合計	138	△84
四半期包括利益	1,696	1,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,654	996
非支配株主に係る四半期包括利益	42	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	23,937	5,872	7,091	2,913	5,768
セグメント間の内部売上高又は 振替高	509	1,269	19	11	1
計	24,447	7,142	7,111	2,925	5,769
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	2,218	66	13	△61	116

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,237	46,821	688	47,509	—	47,509
セグメント間の内部売上高又は 振替高	149	1,961	494	2,455	△2,455	—
計	1,386	48,782	1,182	49,964	△2,455	47,509
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	105	2,458	20	2,479	△129	2,350

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△129百万円には、セグメント間取引消去253百万円、全社費用△382百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
外部顧客への売上高	26,667	5,912	6,885	3,248	6,193
セグメント間の内部売上高又は 振替高	586	1,412	8	16	0
計	27,253	7,325	6,893	3,264	6,194
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	2,510	105	△163	△78	133

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,463	50,369	1,295	51,665	—	51,665
セグメント間の内部売上高又は 振替高	138	2,162	352	2,515	△2,515	—
計	1,601	52,532	1,648	54,180	△2,515	51,665
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	76	2,583	44	2,627	△80	2,547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△80百万円には、セグメント間取引消去256百万円、全社費用△336百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。